

# 褥瘡対策委員会

委員長 入交 純也 / 副委員長 田村 律子

## 展望

当院の褥瘡対策委員会は、2002年に新設された施設基準である褥瘡対策未実施減算に対応すべく同年4月1日に編成され、今年で11年を迎えた。

委員会目標は①褥瘡発生率の低減②チーム連携③体圧分散寝具の整備を三本柱としつつ、施設基準の遵守、JCI (Joint Commission International) スタンドアードの準拠を重点的に取り組んだ。総合的な褥瘡対策を講じるためのチーム作りとして、医師・看護師・栄養士・薬剤師・理学療法士・医事課（入院係・情報システム管理室）・資材課を構成委員とし、各職種が連携し活動を行っている。また、看護部褥瘡対策リンクナース委員会も編成しており、臨床最前線における褥瘡予防のケアを徹底し、褥瘡発生率の低減および治癒率の向上に大きく貢献している。

2013年の実質褥瘡発生率は0.17%と全国平均と比較し非常に低値であり、安全な療養環境の提供に寄与している。今後も「褥瘡を発生させない病院、褥瘡が治る病院」として地域から信頼される医療サービスを提供したい。

次年は体圧分散寝具の整備（経年劣化の評価および適正配置）、人材育成が課題としてあげられるため、計画的に取り組む方針である。

- (4) 悪化 0.0%
- (5) 死亡 19.0%

## 実績

1. 褥瘡発生率 0.17%
2. 褥瘡有病患者介入数（名）
  - (1) 総数 195名
  - (2) 院内発生 19名
  - (3) 院外持込 176名
3. 褥瘡有病患者の転帰（率）
  - (1) 治癒 51.3%
  - (2) 軽快 29.2%
  - (3) 不変 0.5%